

2021年11月26日第146回運輸政策コロキウム バンコクレポート
～スタートアップシリーズその2～

宿利会長 開会挨拶

皆様、こんにちは。運輸総合研究所 会長の宿利正史です。

本日の運輸政策コロキウムにも多くの皆様にご参加いただきまして、誠にありがとうございます。

本日のバンコクレポートでは、当研究所アセアン・インド地域事務所の山下主任
研究員兼次長より、「ASEANから見る航空NOW! ～コロナ禍の先の空の世界～」
と題して研究発表を行います。

運輸総合研究所では、本年4月1日に、当研究所の2か所目の海外拠点となる
「アセアン・インド地域事務所」、AIRO（アイロ）をタイ王国バンコクに開設いた
しました。

バンコクでは、AIRO開設の前後からコロナの感染者が急増したため、現地調査
や対面での情報収集などの活動は非常に限られたものとなっておりますが、まずは、
開設以来の活動を通じて得られた情報や知見の範囲で「スタートアップシリーズ」
として、皆様に情報や知見の発信をしているところです。先月開催した観光をテー
マとした第1回を皮切りに、本日は航空をテーマにとり上げ、今後、港湾・物流、
鉄道といった主要なテーマについて順次皆様にお伝えしていく予定です。

さて、これまで着実に成長を続けてきた東南アジアでは、本日とりあげる航空分
野についても例外ではなく、タイなどでは航空産業を成長戦略の1つの柱に位置付
けるなど、中長期的な計画が進行しています。一方で、昨年初来のコロナの影響を
受け、東南アジアの航空も世界各国と同様に、国内外の航空旅客の激減による航空
会社の経営不振が目立ち、再建などの動きにつながっています。

本日のコロキウムでは、多様性と同調性が混在する東南アジアの航空分野の動向と将来について、コロナの影響、空港整備、航空産業、ASEAN 共同体における航空の動向など、幅広い話題について、山下主任研究員から報告します。

その後、東京工業大学の花岡教授よりコメントをいただき、山内所長をモデレーターとして皆様とディスカッション、質疑応答という流れになっております。

また、来月10日には、「第1回 AIRO ビジネスセミナー ASEAN 航空市場の現状と今後」と題しまして、新しいスタイルのセミナーを開催します。

我が国を代表する二大航空会社のアジア・オセアニア地区代表の方お二人、及び本日発表いたします山下主任研究員をオンラインでつなぎ、在京の当研究所客員研究員とともに、ASEAN 地域における航空会社のコロナの影響や対応、各国政府等の政策対応や我が国政府への要望、さらに航空復興に向けた取組みなどについて現地から紹介します。本日のコロキウムとともに、こちらも是非ご参加いただければ幸いです。

なお、当研究所では、7月12日に行った「デジタルワクチンパスポート導入に関する提言」の進捗状況を検証し、その結果をとりまとめた第二弾の提言を11月22日に公表いたしました。当研究所HPにてご覧いただけます。

最後に、本日のこのコロキウムにご参加いただいております多くの皆様にとりまして真に有益なものとなりますことを期待いたしまして、私のご挨拶といたします。本日は、誠にありがとうございます。

(以上)